

A Letter from the Career

Guidance Office No11 May13

今回は私立大学の入試のシステムについて紹介します。

3教科型 (出願は1月初旬～ 試験は2月中心)

文系学部：国語・英語・選択科目（地歴公民 or 数学）

理系学部：数学・理科・英語

【入試例】

甲南大学 法学部

国語150点 英語150点 日本史/世界史/数学ⅠAⅡBから選択100点

甲南大学 理工学部

数学ⅠAⅡBⅢ100点 英語100点 物理/化学/生物から選択100点

その他に、2科目型・1科目型もあり 多くの大学で英語の配点が大

共通テスト利用入試 533大学で実施

a) 共通テストの点数のみで合否判定

b) 共通テスト+大学独自の試験の総合点で合否判定

私立大学の入試で、一番スタンダードなのは3教科型です。この3教科の配点は100・100・100点という場合もありますが、150：150：100など大学によって配点異なる場合があるので、しっかり確認をしておいてください。また最近では英国、英数といった2科目型入試も増えています。ただ全般的に言えるのは、英語の配点が大きく、英語の出来不出来が合否に大きく影響するという事です。今から英語をしっかりと勉強しておきましょう。

その他に共通テスト利用入試があります。これは共通テストの得点で合否を判定します。一般的には、出願のみで、大学での受験が必要ありません。また受験料も一般入試に比べて安く設定されています。しかし、一部の大学では共通テストプラス大学独自のテストを実施する場合があります。



